

「都知事杯オープンデータ・ハッカソン」
バージョンアップに向けた意見交換会
議事概要

日時

令和5年12月16日（土）14時～16時

参加者

2023ファイナリスト及び過去都知事杯受賞者(22名)、宮坂東京都副知事兼(一財)GovTech 東京理事長、高野(一財)GovTech 東京副理事長、各務(一財)GovTech 東京理事、畑中(一財)GovTech 東京理事、山田東京都デジタルサービス局長 ほか

議題（グループ討議、発表及び全体討議）

1. さらに参加したくなるハッカソンに向けて
2. ハッカソンを通してリリースされたサービスに対する支援について
3. その他、オープンデータ等に関する意見

参加者からいただいた主な意見

1. さらに参加したくなるハッカソンに向けて
 - ・ 自分たちで行政課題を探すのは大変なので、行政側から課題の例示等があった方がより参加しやすい
 - ・ これまでのハッカソンの提案を参考にしたいので、ダイジェスト版をHP等に掲載してほしい
 - ・ ハッカソンで生み出されたサービスについて、次年度以降、他の参加者が改良するなど、ブラッシュアップできるような仕組みがあるとよいのではないかと
 - ・ データ可視化やハッカソンでチームビルディングした人たちなどの部門や賞があると良いのではないかと
 - ・ 学生がより参加しやすくなるための取組（広報、賞など）があるとよい
 - ・ ハッカソンを通じて、新しい人たちと出会えるのが良かったので、今後そのようなプログラムにしてほしい
 - ・ 過去のハッカソンに参加した人と交流する機会があるとよい
 - ・ 各自治体が主催するハッカソンとの連携（情報交換、成果の横展開等）をしてほしい
2. ハッカソンを通してリリースされたサービスに対する支援について
 - ・ リリースしたサービスの事業化を目指す場合とOSS（オープンソースソフトウェア）化する場合などに応じた支援をしてほしい
 - ・ 事業化に向けた支援として財政支援、マーケティング支援、法務アドバイス、顧客獲得アドバイス等があるとよい
 - ・ スポンサー企業によるクラウド利用費や賞金などの支援をしてほしい
 - ・ プロダクト開発のための費用は自分たちで何とかできるので、それよりも顧客獲得アドバイスなど事業化に向けた支援をしてほしい
 - ・ 継続的に活動していくためのノウハウを提供してほしい
 - ・ 過去の参加者等から開発プロセスについてノウハウの共有などがある

とよい

- ・ 公共が最初のユーザになってほしい。課題のマッチング（プロダクトと課題の目利き）をしてもらいたい
 - ・ OSS化を支援してほしい
 - ・ 活動が単発で終わるのではもったいない。メンバーが入れ替わっても継続していくサークルのようなつながりがあれば、OSSの管理など継続的なサービス運用ができるのではないか
 - ・ OSSが育ちやすい風土づくりのために行政がバックアップしてほしい
 - ・ プロダクトごとに広報ページを作ってPRするなど、受賞したことをアピールできる仕組みがあるとよい
3. その他、オープンデータ等に関する意見
- ・ オープンデータは、フォーマットを統一し、機械判読性を高めることが重要

今後の取組

参加者からいただいた貴重なご意見を参考にし、都知事杯オープンデータ・ハッカソンのプログラムについてバージョンアップを検討していきます。